

戸田歴史探検ツアー

戸田には魅力的な歴史と文化が息づいています。ロシアと日本の友好の証となった日本初の洋式帆船・ヘダ号の建造、日本最古の擬洋風建築・松城家住宅、大正時代初期に始まったトロール漁と、獲れたタカアシガニの甲羅を使った魔除け面。戸田の人々が大切に守り、繋いできた歴史・文化を学ぶコースです。

1日目

移動距離：18.4km

※沼津駅～煌めきの丘を含めた場合 52.1km

移動時間：35分

※沼津駅～煌めきの丘を含めた場合 94分

総活動時間：4時間（移動時間を除く）

2日目

移動距離：11.4 km

※部田神社～沼津駅を含めた場合 44.1 km

移動時間：21分

※部田神社～沼津駅を含めた場合 79分

総活動時間：3時間 30分（移動時間を除く）

1日目

1、煌めきの丘いたすんごう＆井田松江古墳群（沼津市井田）

まずはみんなで記念撮影。そのあとは階段を下りて、古墳群を見学しよう。

井田松江古墳群：古墳時代後期のものとされる古墳群。昭和29年以降、松江山では29基の古墳が見つかっており、18号墳は発掘当時の状態で見学できるようになっています。また、出土品の一部は戸田造船郷土資料博物館に収蔵・展示されています。

2、昼食は戸田名物・タカアシガニを堪能

戸田では大正初期にトロール漁（底引き網漁）が始まり、深海性の生き物が漁獲されるようになりましたが、タカアシガニは食用にされませんでした。一説によると、1960年代に戸田の旅館が観光客向けに提供をはじめ、名物として浸透したそうです。一部飲食店の店内には生け簀があり、生きたタカアシガニを観察することができます。

3、戸田造船郷土資料博物館（沼津市戸田2710-1）※カニ面キット（500円）を購入

1854年、ロシア使節団を乗せて日本に來航した大型帆船・ディアナ号は、安政の大地震に見舞われ損傷、修理のため戸田へ向かう途中で沈没してしまいます。提督のプチャーチンらは、戸田の地で日本の大工と協力し、ロシアへ帰国するための船を造りました。それが日本初の洋式帆船・ヘダ号です。戸田造船郷土資料博物館には、ディアナ号の錨やヘダ号造船関連資料が展示されています。

4、諸口神社（沼津市戸田2710）

延喜式（平安時代中期に編纂された法令集）に記された歴史ある神社で、航海・漁業の守護神として戸田の漁師さんたちに信仰されています。御浜岬の先端にあり、富士山を望むロケーションも魅力。

5、食材を調達し、ゆめとびら舟山へ

夜はキャンプファイヤー場でバーベキューや花火、レクリエーションを楽しもう！

2 日目

1、ゆめとびら舟山食堂棟でタカアシガニの甲羅のお面づくり

タカアシガニの漁獲がはじまった大正時代頃に、タカアシガニの甲羅に鬼の顔を書いた魔除け面を玄関に飾る風習が広まりました。戸田の子どもたちの郷土玩具としても親しまれていたようです。

※団体での体験をご希望の場合は、事前にご相談ください。

2、重要文化財松城家住宅（沼津市戸田 72）

江戸時代後半から明治時代にかけて、廻船業で財を成した松城家の旧宅で、日本最古の擬洋風建築（近代以来の技術を持つ大工が西洋の建築に似せて建てた建築物）です。

3、部田神社（沼津市戸田 1585）

御浜岬にある諸口神社とともに、延喜式に記された歴史ある神社です。

+α 戸田たちばなの観察

戸田の特産品である「たちばな」は2種類しかない日本固有の柑橘で、戸田は自生地 of 北限です。

ゆめとびら舟山をはじめ、戸田港や戸田商工会、北山の棚田、饗の里公園、新田梅林、井田神社など複数の施設でたちばなの木を見ることができます。

5月中旬～下旬には小さな白い花が咲き、とてもよい香りがします。

夏ごろに実がなり、収穫時期は12月上旬～下旬です。

【お問い合わせ】：戸田森林組合 TEL:0558-94-2123